



## 感染性胃腸炎に注意 手をよく洗いましょう!

### 感染症発生動向速報

(令和3年第42週分・10月18日～10月24日)

(令和3年第43週分は令和3年11月4日(木)発行予定です。)

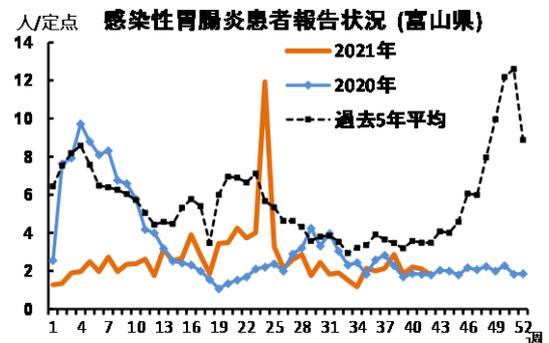
#### 《インフォメーション》

#### ●感染性胃腸炎

今週、県内の感染性胃腸炎の定点医療機関あたりの報告数が1.79人となり、先週(2.11)より減少しました。2021年の県内における感染性胃腸炎の定点あたり報告数は、24週の集団食中毒事例による一過性の増加以外は例年と比較して少ない状況が続いています(図参照)。また、全国での報告数も低いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称です。ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は1年を通して発生しますが、特に冬季に流行します。しかし、2020年には冬季の流行が認められませんでした。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、社会的距離を保つこと、手指消毒やマスク着用等の対策が感染性胃腸炎に対しても効果的であったと考えられます。今年の県内における冬季の流行は不明ですが、今後も発生動向を注視していく必要があります。

ノロウイルスは主に経口感染(経口、糞口)します。また、汚染された糞便や吐物から接触感染します。また、比較的狭い空間等での飛沫・空気感染の報告もあります。感染後24～48時間の潜伏期を経て、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはありません。治療は対症療法が中心になります。また、ノロウイルスの排出は症状の消失後も数週間ほど続きます。次の事項に注意して感染を予防しましょう。



- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が85℃～90℃で90秒以上)して食べる。

#### 《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 5件  
 二類感染症 結核 2件 (①第40週診断分:80歳代、男性 ②80歳代、男性)  
 四類感染症 レジオネラ症 4件 (①50歳代、男性、肺炎型 ②60歳代、男性、肺炎型  
 ③④共に70歳代、男性、肺炎型)  
 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(80歳代、男性、A群)  
 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(70歳代、女性)  
 水痘(入院例) 1件(20歳代、男性)

#### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.79(↓)	2.11
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.43(↑)	0.39
	手足口病	0.43(↑)	0.36
4位	ヘルパンギーナ	0.25(↓)	0.36
5位	咽頭結膜熱	0.14(→)	0.14
	水痘	0.14(↑)	0.07
	突発性発しん	0.14(↓)	0.57

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第42週 令和3年10月18日～令和3年10月24日）

分類	疾患	今週報告分（第42週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1		1		3		5	373	282	1,078	299	2,147	98	4,277
二類感染症	結核					1		1	11	6	31	15	50		113
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	7	1	6		15
四類感染症	E型肝炎								3				2		5
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症			1	1	2		4	5	3	15	2	11		36
五類感染症	アメーバ赤痢								1				2		3
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	2	4		8
	急性脳炎										1		2		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1				1			6	2	2		10
	後天性免疫不全症候群								1			2	1		4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症					1		1	1		2		13		16
	水痘（入院例）		1					1		1			1		2
	梅毒								1	1	5	1	27		35
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風										1				1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症						1		1	132	130	1,578	391	827		3,058
咽頭結膜熱		1		3				4	41	40	148	7	146		382
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		3		8		12	72	39	457	86	257		911
感染性胃腸炎		18	2	6	7	17		50	723	411	569	231	1,282		3,216
水痘					3	1		4	1	15	29	20	56		121
手足口病				6	6			12	7		24	15	15		61
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん		1		1	1	1		4	54	31	138	51	123		397
ヘルパンギーナ			3	1		3		7	31	27	86	4	31		179
流行性耳下腺炎									3	2	9	8	13		35
流行性角結膜炎									3	1					4
細菌性髄膜炎													2		2
無菌性髄膜炎													2		2
マイコプラズマ肺炎											1	9	1		11
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1						1
インフルエンザによる入院患者（※2）												1			1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週（9月6日）～の集計です。